

低燃費で長時間飛行 日本の圃場だから発揮できる 最高のパフォーマンスを



ドローンは今まで維持費や周辺部品など、多くのコストが発生していました。「ドローンは大規模圃場のものだ!」と言われ続け、どうしたら普及できるのか考え続けました。ただ安いだけではいけない。アタッチメント式で多様な使用方法にも対応、アシスト機能の充実、薬剤ドリフトの低減、コストを抑えるための耐久性や飛行時間。たくさんの現場の声が反映され、様々な問題を乗り越えた飛助miniが誕生しました。

01 FUEL ECONOMY 燃費

小型の農業ドローンといえどバッテリーはまだ高価。中山間地でバッテリーコストを回収するには至難の業です。そこで飛助miniの推進部品やバッテリー、プロペラの大きさなど機体の重量も最適化を行い、飛行時間が大幅に向上しました。24inchの大きなプロペラと、強力なブラシレスモーターのパワーで低回転でトルクある飛行を実現します。

なんと
従来の**2倍**



必要な量だけ薬剤を補充して散布
バッテリーの交換は不要!

02 SPRAYING PERFORMANCE 散布性能

機体重量を軽くすればするほど、ダウンウォッシュ(降下気流)が弱くなり、横風の影響を受けやすくなります。そこでフレームを〈十〉の構造で設計し、前進と後進でも変わらず機体の75%のダウンウォッシュを利用でき、横風に強くドリフトを低減することができます。また、従来よりも二回り大きくなった直径61cmのプロペラにより、ダウンウォッシュの到達距離が長くなり、作物の根元まで薬剤を散布することができます。

前進

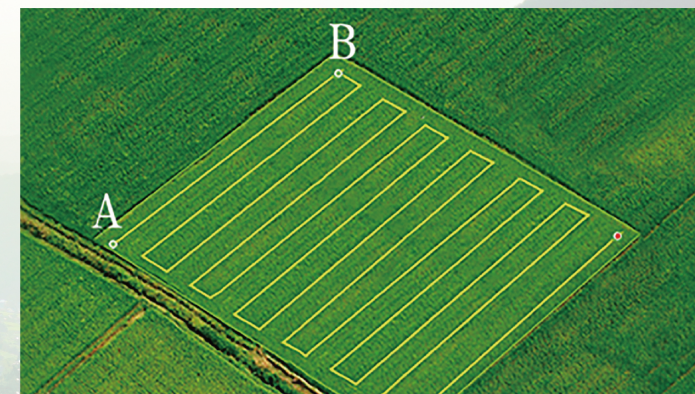


後進



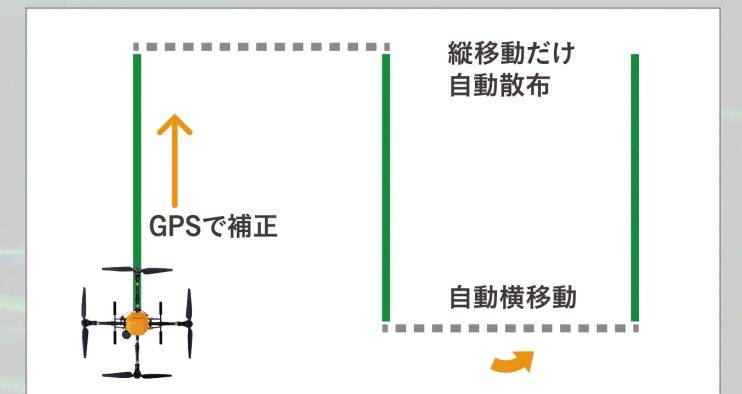
03 AUTOMATIC FLIGHT & STRAIGHT AHEAD ASSIST 自動飛行&直進アシスト

自動飛行モード



A地点、B地点の上空でスイッチを押すだけで自動散布飛行が可能です。横移動や前後移動、散布装置のON・OFFも全て自動制御します。前後移動の時だけ散布装置がONになり、ホバリング時と横移動時は散布装置がOFFになるので薬剤を不用意に落下させることはありません。本機はタブレットやモニターを使用しないので、太陽光の熱によるアプリと接続できない、などの不具合リスクを抑えることができます。

直進アシストモード



初心者の方でも簡単に散布できるように、直進アシストモードが標準で装備されています。GPSを使用して飛行経路がズレないように自動で補正され、速度は15kmで固定、散布装置も緑線だけを散布するように自動制御します。ホバリング時や横移動時は散布装置が自動停止するので毎回操作する必要はありません。スイッチ一つで自動で4m横移動を行うので、作業が変わっても正確な散布幅で作業できるので散布ムラを低減します。